

■フロア管理



透析室

透析室では医師や看護師、その他コメディカルと共に患者様の透析開始から終了まで一連の業務に携わり、チーム医療としての一端を担っています。

7階Aフロア：37床(午前1クール)

7階Bフロア：37床(午前1クール)

8階Aフロア：39床(午前・午後・夜1クールずつ)

8階Bフロア：37床(午前・夜1クールずつ)

■機器管理



コンソールメンテナンス

コンソール、大型装置等の透析関連装置の他にも

- ・血液ガス分析装置
- ・浸透圧計
- ・除細動器、AED
- ・輸液ポンプ、シリンジポンプ
- ・心電図モニター

などの管理や保守点検を行っています。

■水質管理



ET(エンドトキシン)測定

透析液の水質は透析治療の安全性と生体適合性に大きく関わるため、適切な管理指針のもと安全で純度の高い透析液を使用することが求められます。

当院ではオンライン対応コンソールでET(エンドトキシン)測定を月1回、細菌検査を年1回実施。大型装置はET測定、細菌検査共に月1回実施。日本透析医学会の定めるガイドライン等を遵守し、透析液の清浄化に努めています。



透析排水中和処理

透析後の洗浄に用いる酸性の薬剤は、排水管を著しく損傷するおそれがあり、近年問題視されています。

当院は透析排水中和処理装置を2台設置し、透析排水が定められた下水排除基準から逸脱しないように維持管理しています。

■VA(バスキュラーアクセス)管理



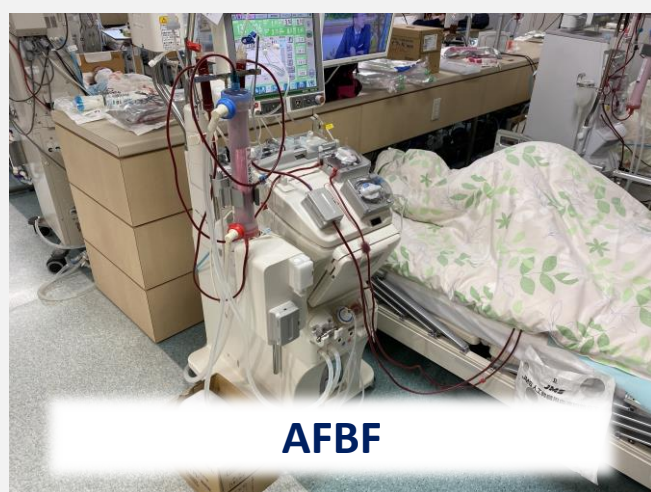
シャントエコー

透析患者様のVAを長期的に使用するためには、VAトラブルの早期発見が重要となります。透析開始前のVA状態を観察し、理学所見から異常が疑われる場合は臨床工学技士が超音波診断装置を用いて検査を行います。また、患者様への教育に加え、院内のVA委員会による勉強会の実施、医師による外来診察への同席等、スタッフへの教育も充実しています。

■至適透析

当院で使用している多人数用コンソールは、血液透析(HD)、オンライン血液透析濾過(HDF)、間歇補充型血液透析濾過(I-HDF)に対応しています。特にオンラインHDFでは前希釈型、後希釈型、後希釈型+間歇補充型の組み合わせの3パターンの治療方法から、医師の指示のもと患者様一人一人の状態に合わせた治療方法を選択します。治療方法以外にも、膜の選択、膜面積、血流量(QB)、補液量(Qs)等の提案も積極的に行っています。また、一部の患者様にはLDL吸着療法、AFBF(アセテートフリーバイオフィルトレーション)、 β 2MG(ミクログロブリン)吸着療法等の特殊血液浄化を行っています。

■特殊血液浄化



■その他の業務例

- ・採血分注
- ・血液ガス測定
- ・学会発表
- ・委員会活動
- ・院内勉強会